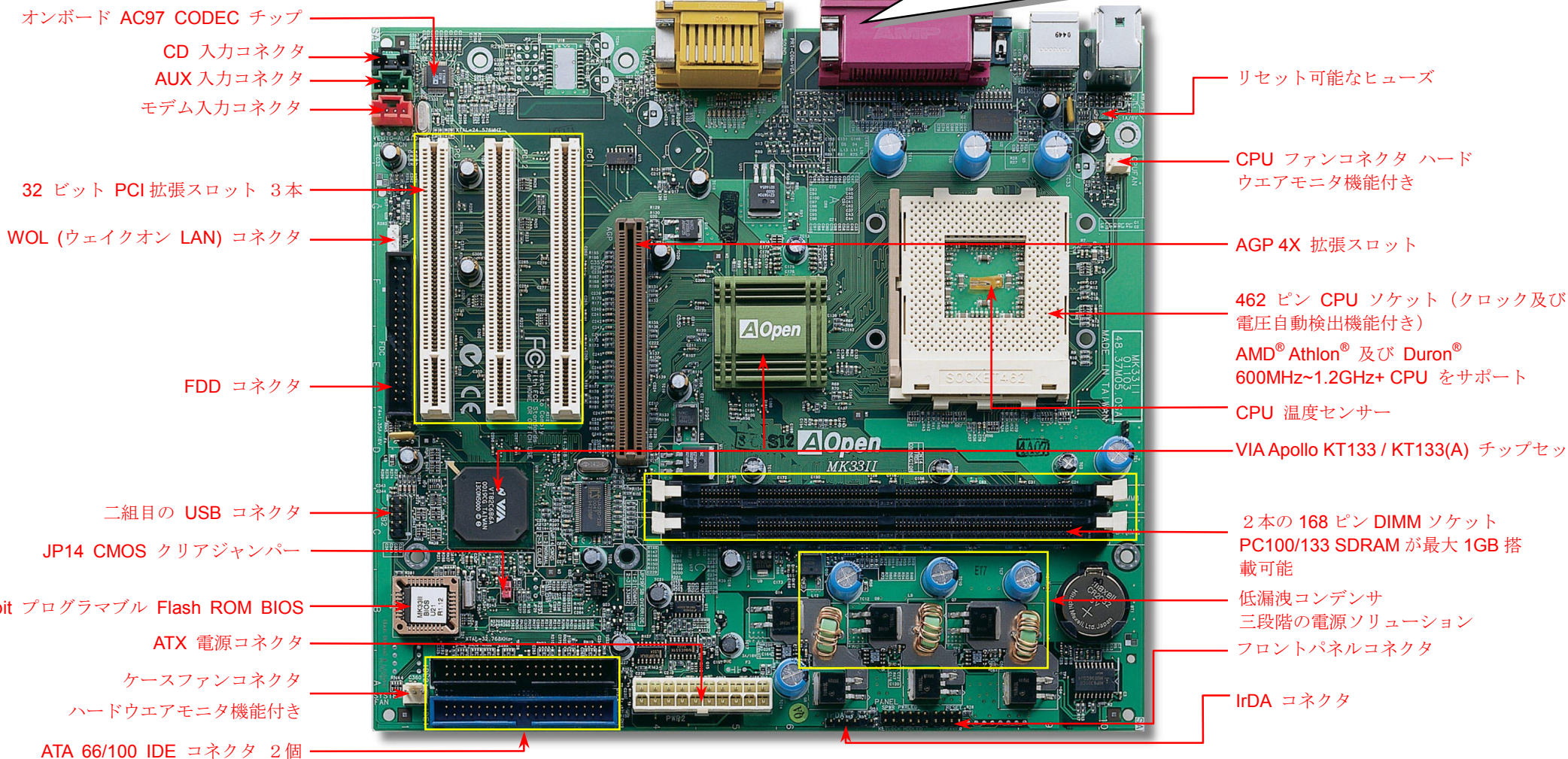
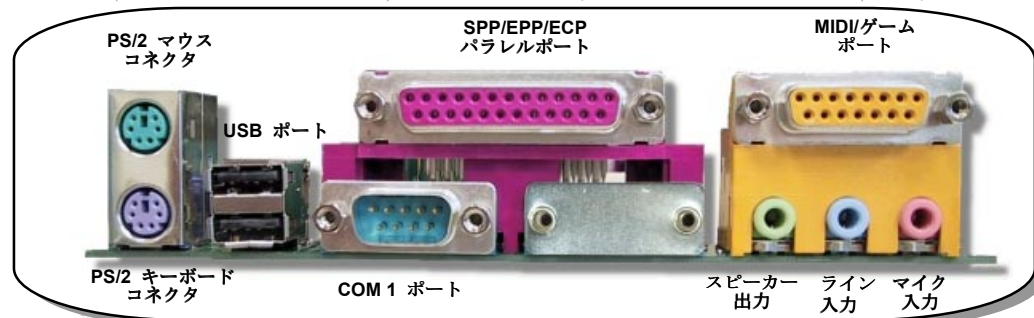


# MK33 II MK33 II(A)

## イージーインストールガイド



# インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な情報についてはオンラインユーザーズマニュアルか **Bonus Pack CD ディスク** に付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

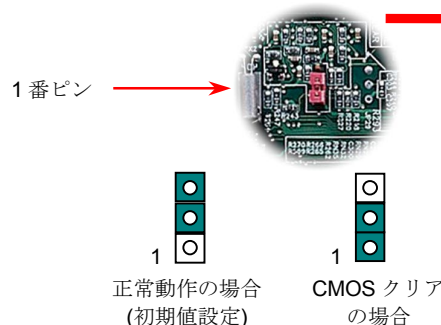
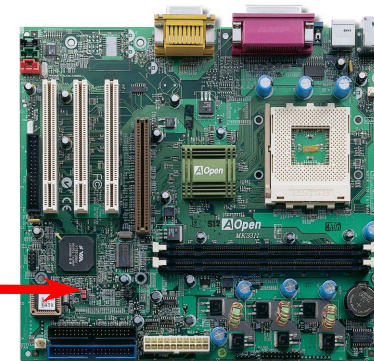
## 付属品のチェックリスト

- ▶ ハードディスクドライブ IDE ケーブル 1 本
- ▶ 80 芯線 IDE ケーブル 1 本
- ▶ フロッピードライブケーブル 1 本
- ▶ **Bonus Pack CD** ディスク 1 枚
- ▶ 本イージーインストールガイド 1 式

## 1.JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



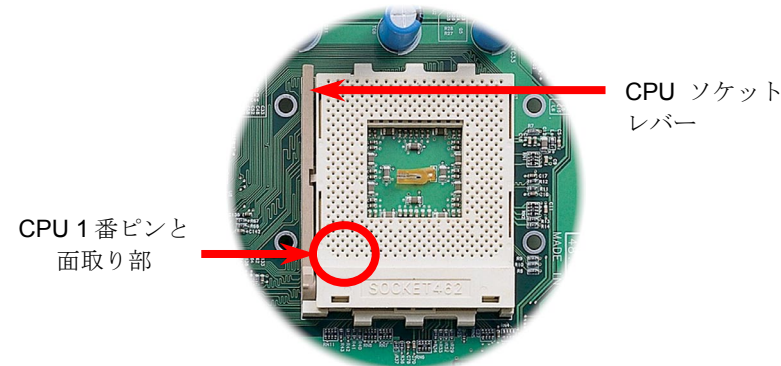
ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

## 2. CPU のインストール

このマザーボードは 462 ピン AMD® Athlon と Duron ソケットシリーズ CPU 及び 200/266MHz EV6 パスをサポートしています。CPU ソケットに差し入れる時の CPU の向きにご注意ください。以下は CPU のインストール手順です。

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置及び CPU 上部の金色の面取り部を確かめてください。1 番ピン及び面取り部を合わせて、CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻しますと、CPU のインストールは完了です。

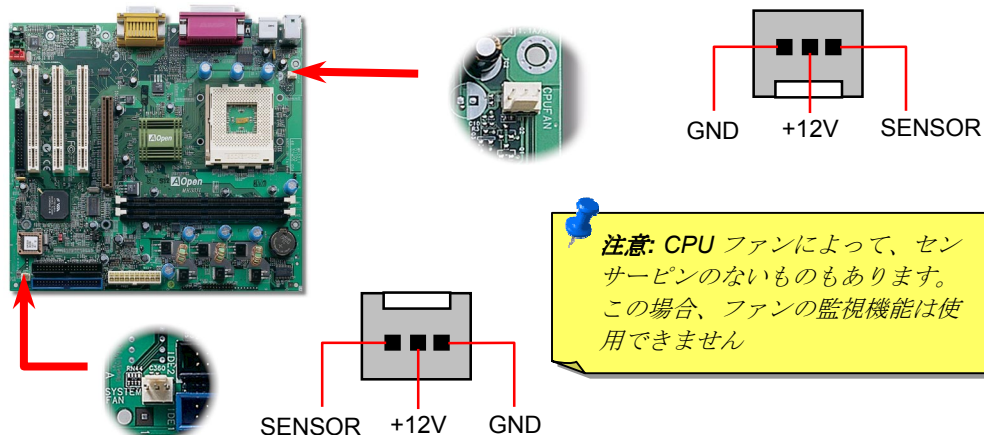


注意: CPU ソケットの 1 番ピンと CPU の面取り部を合わせてインストールしないと、CPU に損傷を与える可能性があります。



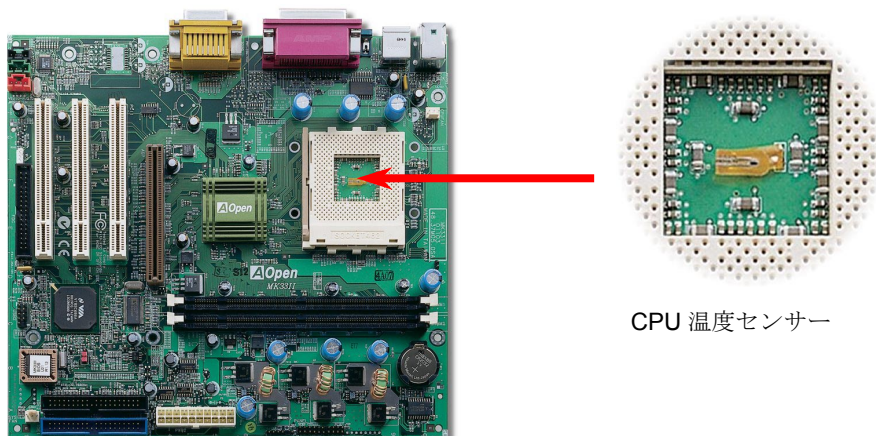
### 3. CPU 及びケースファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3-ピンの **CPUFAN** コネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを **SYSTEM FAN CONN** コネクタに差し込むことも可能です。



### 4. CPU 温度センサー

MK33 II / MK33 II(A)マザーボードは CPU ソケットの中央に CPU 温度を監視する温度センサーを設けています。この温度センサーは CPU 温度を検出し、温度の信号をハードウェアモニタチップに送ります。従って、BIOS セットアッププログラムやハードウェアモニタユーティリティより、CPU 温度を監視することができます。



### 5. CPU 電圧及びクロックの設定

#### CPU コア電圧の自動検出

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が 1.1V~1.85V の範囲で自動検出されます。

#### CPU クロックの設定

**コアクロック = CPU FSB クロック \* CPU レシオ**

**EV6 バススピード = CPU FSB クロック x 2**

**PCI クロック = CPU FSB クロック / クロックレシオ**

**AGP クロック = PCI クロック x 2**

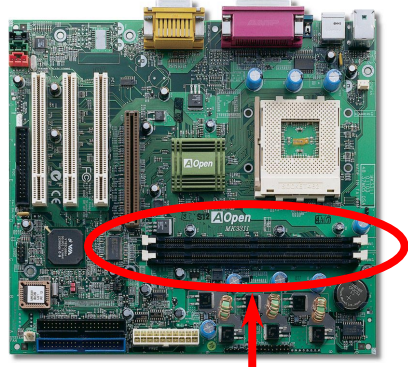
CPU	CPU コアクロック	EV6 バスクロック	レシオ
Athlon 600	600MHz	200MHz	6x
Athlon 650	650MHz	200MHz	6.5x
Athlon 700	700MHz	200MHz	7x
Athlon 750	750MHz	200MHz	7.5x
Athlon 800	800MHz	200MHz	8x
Athlon 850	850MHz	200MHz	8.5x
Athlon 900	900MHz	200MHz	9x
Athlon 950	950MHz	200MHz	9.5x
Athlon 1000	1GHz	200MHz	10x
Athlon 1100	1.1GHz	200MHz	11x
Athlon 1200	1.2GHz	200MHz	12x
Duron 600	600MHz	200MHz	6x
Duron 650	650MHz	200MHz	6.5x
Duron 700	700MHz	200MHz	7x
Duron 750	750MHz	200MHz	7.5x
Duron 800	800MHz	200MHz	8x

**警告:** VIA® Apollo KT133 / KT133(A) チップセットは、最大 100MHz FSB 及び 66MHz AGP クロックをサポートしています(CPU が 133MHz で動作している場合に、VIA® Apollo KT133(A) チップセットは 133MHz FSB 及び 66 MHz AGP クロックしかサポートしていません)。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

**ヒント:** オーバークロックにより、システム起動に失敗してフリーズした場合は、<Home> キーを押すだけで初期値設定(433MHz)に戻ることができます。

## 6. DIMM モジュールのインストール

MK33 II / MK33 II(A)マザーボードには168ピンDIMMソケットが2本装備されています。100 MHzの場合において、PC100またはPC133メモリが最大1.5GBまで搭載可能です。しかし、133MHzの場合において、MK33 II(A)はPC-133 DIMMモジュールしかサポートできません。また、MK33 II / MK33 II(A)マザーボードでは、SDRAM、VCM及びレジスタ付きDRAMもサポートされています。

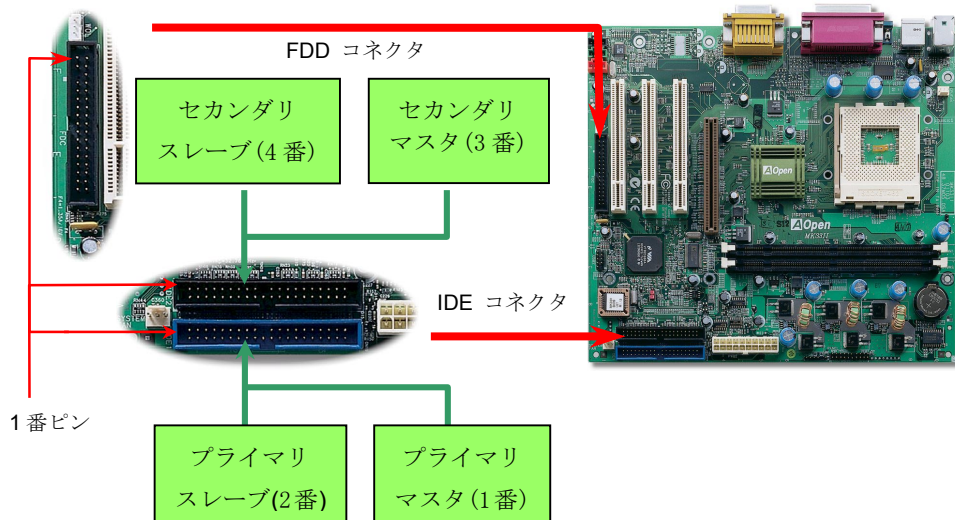


DIMM1  
DIMM2

**ヒント:** 新世代のチップセットの動作性能はメモリバッファ(性能向上のため)の不足により頭打ちになることがあります。そのため、DIMMのインストール時にはDRAMチップ数の確認が重要な役割を果たします。残念ながらBIOSには正確なチップ数を検出する手段はありませんので、チップ数は目視で確認することが必要となります。簡単な原則は次の通りです。目視で確認して、DIMMのチップ数が18個以内であれば、問題なく使用できます。

## 7. IDE 及びFDD ケーブルの接続

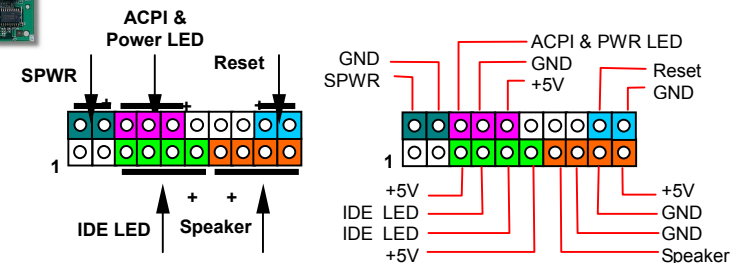
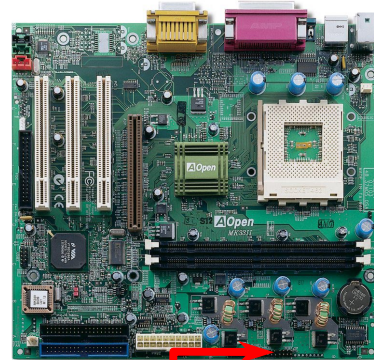
34ピンのフロッピーケーブル及び40ピンIDEケーブルをそれぞれフロッピーコネクタFDD及びIDEコネクタに接続します。確認しやすいため、IDE1コネクタは青い色となっています。1番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来す恐れがあります。



## 8. フロントパネルケーブルの接続

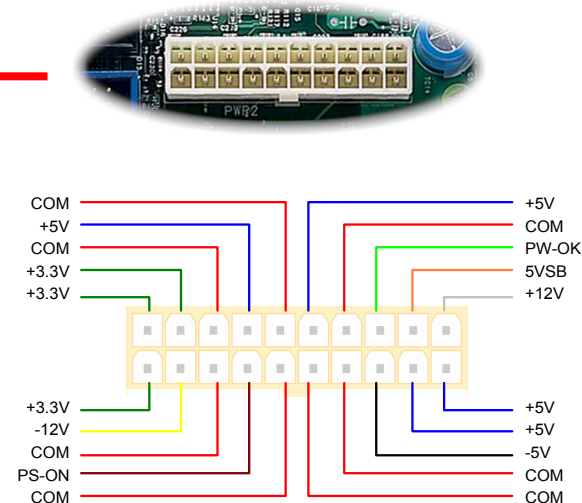
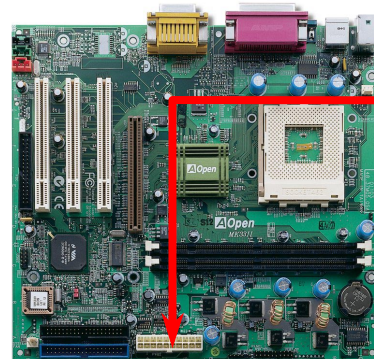
電源 LED、EMPI、スピーカー、電源、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差し込みます。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



## 9. ATX 電源コネクタの接続

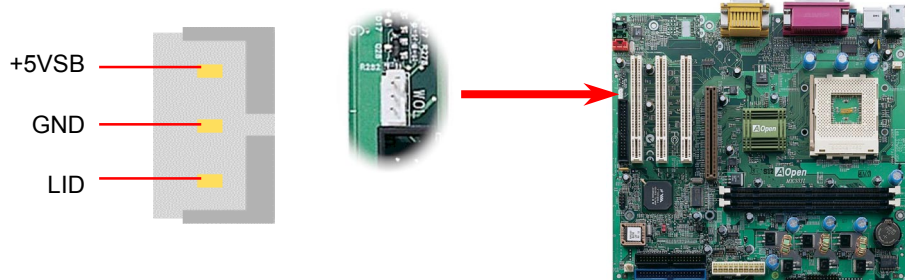
ATXパワーサプライには下図のように20ピンのコネクタが使用されています。差し込む際は向きにご注意ください。





## 10. WOL (Wake On LAN) ケーブルの接続

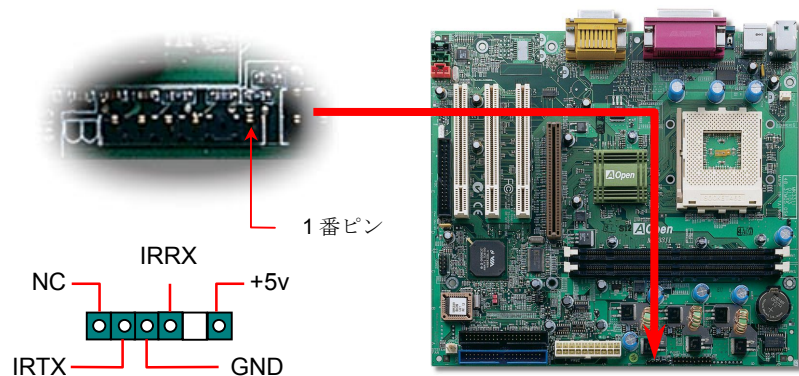
この機能はウェイクオンモデムと酷似していますが、これはローカルエリアネットワークを対象としています。LAN ウェイクアップ機能を使用するには、この機能をサポートするチップセット搭載のネットワークカードが必要である上に、ケーブルで LAN カードをマザーボードの WOL コネクタに接続してください。システム判別情報(おそらく IP アドレス)はネットワークカードに保存され、イーサネットには多くのトラフィックが存在するため、システムをウェイクアップさせる方法は ADM 等のネットワークソフトウェアを使用することが必要となります。この機能を使用するには、LAN カードへの ATX からのスタンバイ電流が最低 600mA 必要であることにご注意ください。。



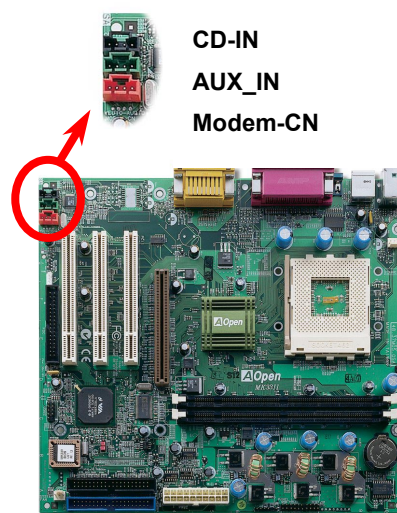
## 11. IrDA コネクタの接続

IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。

IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



## 12. CD / AUX\_IN / モデム入力の接続



**CD-IN** コネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

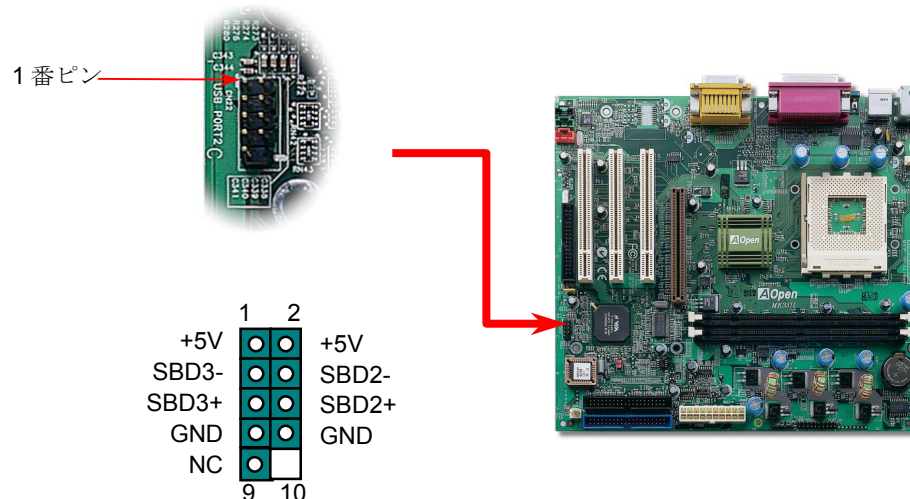
**AUX-IN** コネクタは MPEG カードからの MPEG オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

**Modem-CN** コネクタは内蔵モデムカードからのモノラル入力/マイク出力ケーブルをオンボードサウンド回路に接続するのに用います。

コネクタ	ピン 1	ピン 2	ピン 3	ピン 4
CD-IN	Left	GND	GND	Right
AUX_IN	Left	GND	GND	Right
Modem-CN	Mono In	GND	GND	Mic Out

## 13. 二組目の USB コネクタの接続

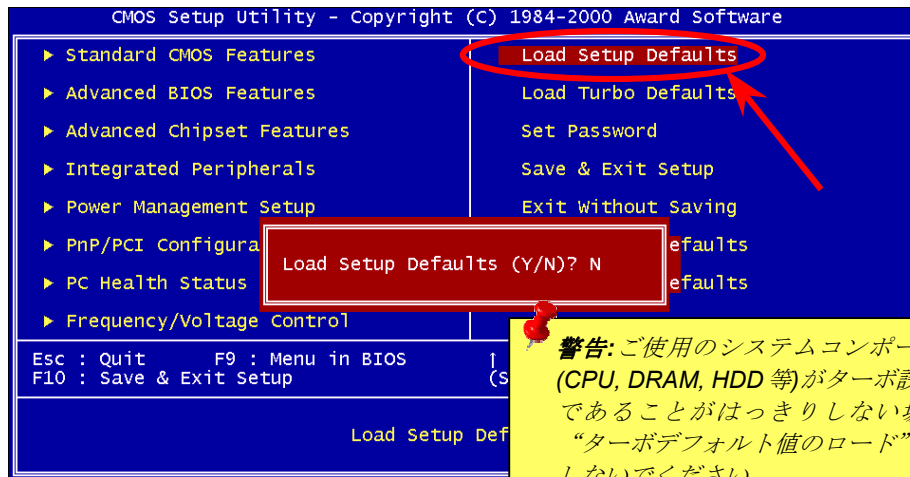
このマザーボードは四個の USB ポートをサポートしています。二個はバックパネルにあり、他の二個はこのマザーボードの左下の部分にあります。適当なケーブルにより、フロントパネルに接続することが可能です。。



## 14. 電源入れ及びBIOS セットアップのロード

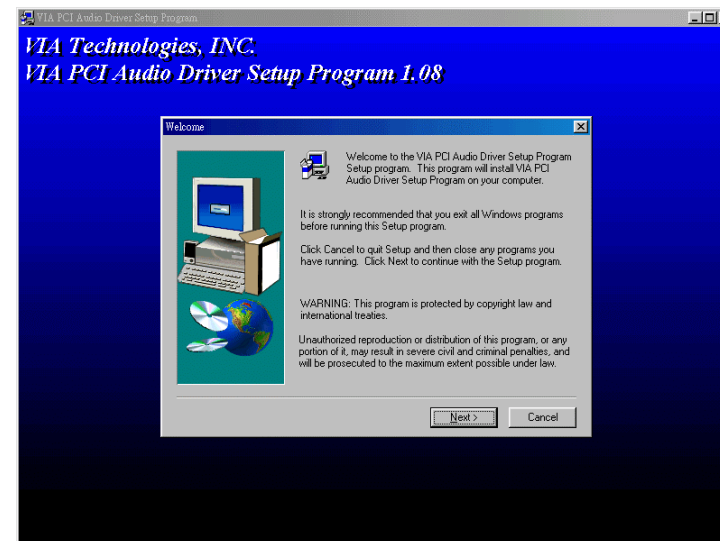
Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中に<Del>キーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択しするようお勧め致します。



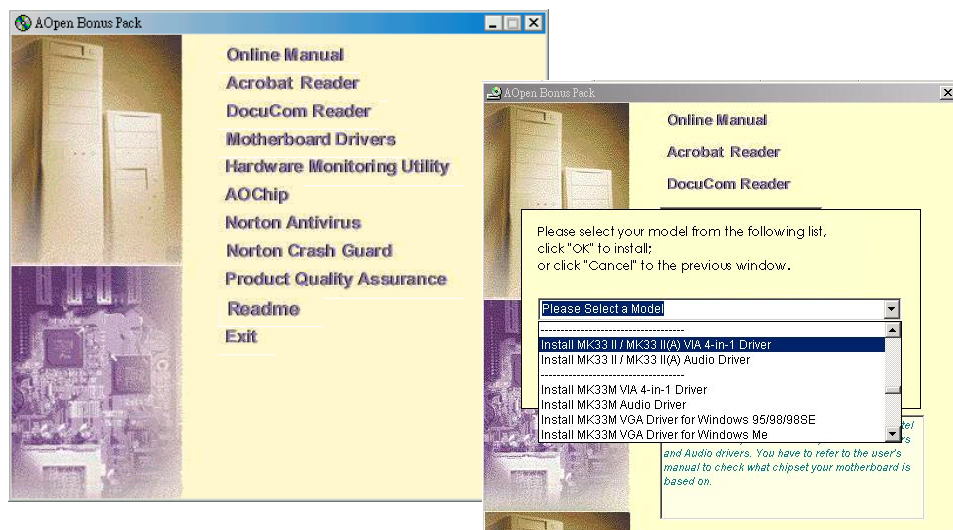
## 16. オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには AD 1885 AC97 サウンドコーデックが装備されています。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクオートランメニューから見つけられます。



## 15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。



## 17. BIOS のアップグレード

AOpen イージーフラッシュは従来のフラッシュ方法と比べ、よりユーザーフレンドリーな設計となっています。BIOS バイナリファイルとフラッシュルーチンが一緒になっていますので、1つのファイルを実行するだけでフラッシュ処理が可能です。

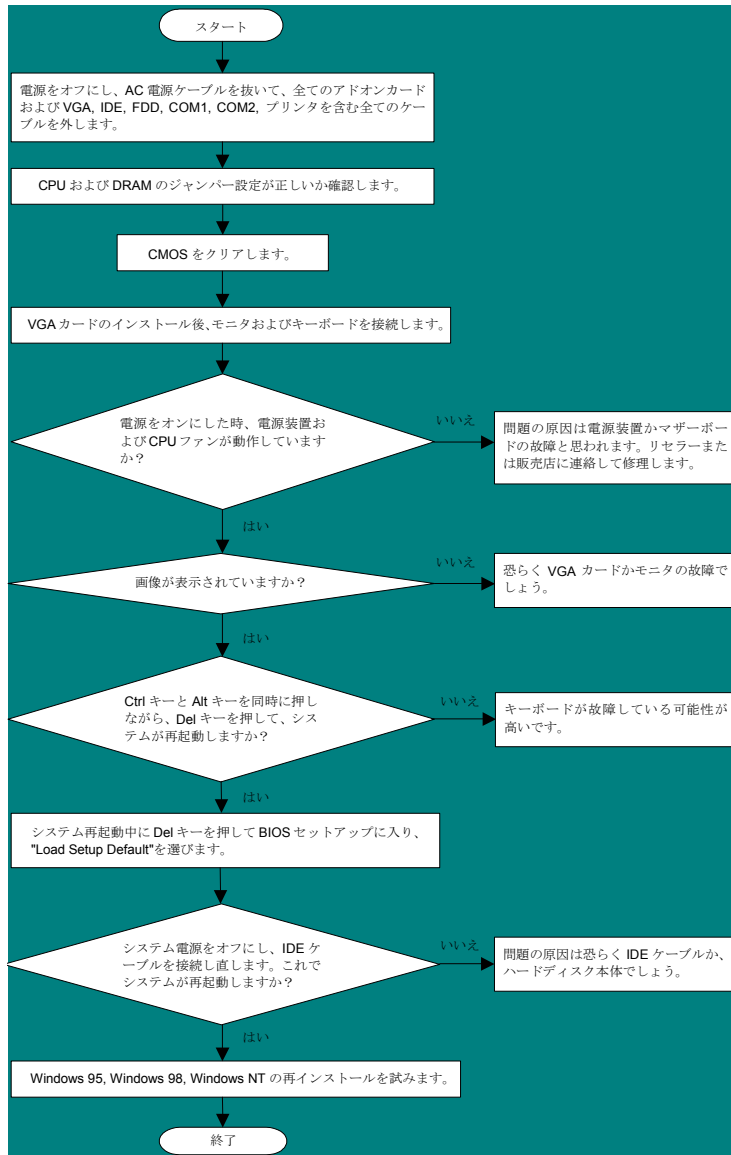
1. AOpen のウェブサイトから最新の BIOS アップグレード zip ファイルをダウンロードします。例えば、MK33II102.ZIP です。
2. 各種の基本ソフトをサポートする PKUNZIP (<http://www.pkware.com/>)のシェアウェアを実行して、バイナリ BIOS ファイルとフラッシュユーティリティを解凍します。Windows 環境であれば、Winzip (<http://www.winzip.com/>)が使用できます。
3. 解凍したファイルを起動用フロッピーディスクに保存します。例えば、MK33II102.BIN 及び MK33II102.EXE です。
4. システムを DOS モードで再起動します。この際 EMM386 等のメモリ操作プログラムやデバイスドライバはロードしないようにしてください。約 520K の空きメモリ領域が必要です。
5. A:> MK33II102 を実行すると後はプログラムが自動処理します。
6. システムを再起動し、<Del>キーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup (保存して終了)"します。

**警告:** フラッシュ時には以前の BIOS 設定およびプラグアンドプレイ情報は完全に置き換えられます。システムが以前のように動作するには、BIOS の再設定および Win95/Win98 の再インストール、アドオンカードの再インストールが必要となります。



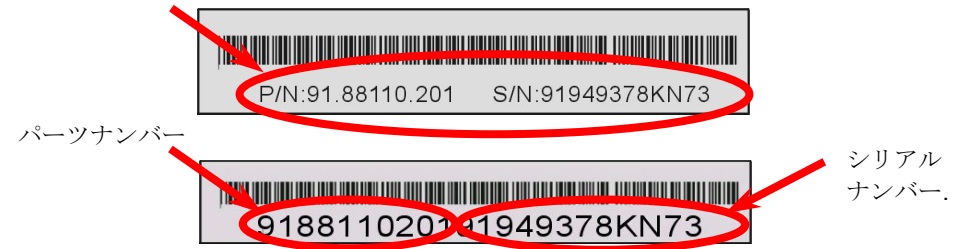
## トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



## パーツナンバー及びシリアルナンバー

パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73がシリアルナンバーで

## モデルネーム及びBIOS バージョン

モデルネーム及び BIOS バージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面) の左上に表示されます。以下は一例です。



MK33 IIがマザーボードのモデルネームで、R1.00 がBIOSバージョンです。





# テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、Aopen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます！

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域

AOpen Inc.

Tel: 886-2-2696-1333

Fax: 886-2-8691-2233

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.

Tel: 31-73-645-9516

Fax: 31-73-645-9604

中国

艾爾鵬國際上海(股)有限公司

Tel: 49-2102-157700

Fax: 49-2102-157799

ドイツ

AOpen Computer GmbH.

Tel: 49-2102-157700

Fax: 49-2102-157799

米国

AOpen America Inc.

Tel: 1-510-498-8928

Fax: 1-408-922-2935, 1-408-432-0496

ウェブサイト: <http://www.aopen.com.tw>

E メール: 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://www.aopen.com.tw/tech/contact/techusa.htm>

日本語 <http://aojp.aopen.com.tw/tech/contact/techjp.htm>

中国語 <http://w3.aopen.com.tw/tech/contact/techtw.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/contact/techde.htm>

フランス語 <http://aofr.aopen.com.tw/tech/contact/techfr.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/contact/techcn.htm>

1

オンラインマニュアル: マニュアルを注意深くお読みになり、ジャンパー設定及びインストール手順が正しく行われることを確認してください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/manual/default.htm>

2

テストレポート: 自作パソコンのための互換性テストレポートより、マザーボード、アドンカード及びデバイスを選択するようお勧めいたします。

<http://www.aopen.com.tw/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられた質問) よりトラブルの解決法が発見するかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: アップデートされた最新 BIOS、ユーティリティ及びドライバをチェックして取得してください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: お抱えになっているトラブルに関して、弊社のエンジニアもしくはパワーユーザーよりその解決法をニュースグループに掲載されているかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店及びリセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。彼らはお客様のパソコン状況をよく知り、弊社より効率的にトラブルを解決することができます。彼らのサービス次第、お客様が彼らに別の製品を購入する意思が大きく左右されます。

7

弊社へのご連絡: 弊社までご連絡になる前に、システムに関する詳細情報及びエラー状況を確認して、必要に応じてご提供を求められる場合もあります。パーツナンバー、シリアルナンバー及び BIOS バージョンなどの情報提供も非常に役に立ちます。